

いちご登録農薬適用表(1)(殺虫)

登録内容は2021年10月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌 消毒	劇	IRAC B	クロロピクリン錠剤	—	1回	1穴当たり1錠(30×30cm毎に1錠)	—	萎黄病、炭疽病、センチュウ類、疫病	—	—	錠剤	土壌くん蒸	クロロピクリン	
						1㎡当たり10錠	—	一年生雑草、萎黄病						

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺 虫 剤	—	—	エコピタ液剤	定植前	—	100倍	—	ハタニ類	中	短	液剤	苗浸漬 (10秒～1分)	還元澱粉糖化物		
				収穫前日まで		100倍(100～300g)	1g	アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、うどんこ病				散布			
	23	—	モベントフロアブル	育苗期後半	1回	500倍(2.5～50ml/株)	—	コナジラミ類、アブラムシ類	遅	長	フロアブル	灌注	スピロテトラマト	蜂、カブリダニ類(天敵)、マルハナバチ 注意	
				500倍(50ml/株)		—	アザミウマ類、ハダニ類								
				収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	アザミウマ類、ハダニ類、コナジラミ類、アブラムシ類				散布			
	劇	4	—	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25g	アブラムシ類、カキ/ヒメコバエ、チハ/クロハ/ネキノコバエ	中	長	顆粒 水溶剤	散布	アセタミプリド	
							2,000倍(100～300g)	50g	コナジラミ類、アザミウマ類						
	4	—	—	ベストガード水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100～300g)	50g	アブラムシ類、チハ/クロハ/ネキノコバエ、コナジラミ類	中	長	水溶剤	散布	ニテンピラム	
	5	—	—	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100～300g)	20g	アザミウマ類	速	短	顆粒 水和剤	散布	スピノサド	
	5	—	—	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500～5,000倍(100～300g)	40～20ml	アザミウマ類、ハスモンヨウ	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム	
							2,500倍		コナジラミ類、クロハ/ネキノコバエ類						
	9	—	—	チェス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	5,000倍(100～300g)	20g	コナジラミ類、アザミウマ類	中	中	顆粒 水和剤	散布	ピメロジン	
	9B	—	—	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	3,000～4,000倍(100～300g)	33～25g	コナジラミ類、アザミウマ類	中	中	顆粒 水和剤	散布	ピリフルキナゾン	養蜂注意
	29	—	—	ウララDF	収穫前日まで	2回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒 水和剤	散布	フロニカミド	
							200倍(100～300g)	50g	コナジラミ類						
	劇	13	—	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	ハダニ類、ハスモンヨウ、シクラメンホリダニ、ミカンキイロアザミウマ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	
	15	—	—	カスケード乳剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100～300g)	2.5ml	ハスモンヨウ、ミカンキイロアザミウマ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン	
	28	—	—	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍(100～300g)	50～25ml	ハスモンヨウ	速	長	液剤	散布	シアントラニリプロール	銅剤との混用注意
							2,000倍(100～300g)	50ml	コナジラミ類、アザミウマ類、アブラムシ類						
	30	—	—	グレーシア乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	アザミウマ類、ハスモンヨウ、ハダニ類	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	
3	—	—	アーデント水和剤	収穫前日まで	4回以内	1,000倍(150～300g)	100g	アブラムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ	速	中	水和剤	散布	アクリナトリン		
6	—	—	アフファーム乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	オオタバコカ、ハスモンヨウ、ハダニ類、ヨトウムシ	速	短	乳剤	散布	エマメクチン安息香酸塩		
6	—	—	コロマイト水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300g)	50g	ハダニ類、シクラメンホリダニ	速	短	水和剤	散布	ミルベメクチン		
10	—	—	ニツラン水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000～3,000倍(100～300g)	50～33g	ハダニ類	遅	長	水和剤	散布	ヘキシチアゾクス		
劇	21	—	ピラニカEW	収穫前日まで	2回以内	2,000～3,000倍(150～300g)	50～33ml	ハダニ類	速	長	乳剤	散布	テブフェンピラド		
						2,000倍(150～300g)	50ml	アブラムシ類、うどんこ病							
20	—	—	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100～300g)	100ml	ハダニ類	中	中	フロアブル	散布	ビフェナゼート		
25	—	—	ダニサラバフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100～350g)	100ml	ハダニ類	速	中	フロアブル	散布	シフルメトフェン		
25	—	—	スターマイトフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100～300g)	50ml	ハダニ類、シクラメンホリダニ	速	長	フロアブル	散布	シエンピラフェン		

◆削除農薬(令和4年度中に使用下さい):「トルネードエースDF」「マブリック水和剤20」「テルスタージェット」「バロックフロアブル」

いちご登録農薬適用表(2)(殺菌)

登録内容は2021年10月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		21	ランマンフロアブル	育苗期 生育期(但し収穫30日前まで)	2回以内	500~1,000倍(50ml/株) 500~1,000倍(100ml/株)	200~100ml 200~100ml	疫病	○	△	フロアブル	株元灌注	シアゾファミド		
		19	ポリオキシンAL水和剤	収穫開始14日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	灰色かび病、うどんこ病	○	○	水和剤	散布	ポリオキシン複合体		
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	本圃3回以内 苗床4回以内	1,500~2,000倍(100~300g)	67~50ml	うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン		
				2,000倍(100~300g)		50ml	炭疽病								
				1,500倍(100~300g)		67ml	灰色かび病								
		11	ストロピーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3,000~5,000倍(100~300g)	33~20ml	うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル		
		17、M7	ダイマジン	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(150~300g)	50g	うどんこ病、灰色かび病	○	○	水和剤	散布	イミノクタジナルベシル酸塩、 フェンヘキサミド		
		M7	ベルコート水和剤	育苗期(定植前) 収穫前日まで(生育期)	5回以内	1,000倍(100~300g)	100g	うどんこ病、炭疽病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジナルベシル酸塩		
				4,000倍(100~300g)		25g	うどんこ病								
		2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	4回以内	農薬総使用回数、 合わせて4回以内	1,500倍(100~300g)	67g	灰色かび病・菌核病・黒斑病	○	△	水和剤	散布	イプロジオン	同成分剤の使用回数に注意
	劇	2	ロブラールくん煙剤	収穫前日まで	4回以内		100g/300~400㎡	—	灰色かび病	○	△	くん煙剤	くん煙	イプロジオン	同成分剤の使用回数に注意
		3	サブロール乳剤	収穫前日まで	5回以内		2,000倍(100~300g)	50ml	うどんこ病	○	○	乳剤	散布	トリホリン	
		3	トリフミン水和剤	収穫前日まで	5回以内	農薬総使用回数、 合わせて5回以内	3,000倍(100~300g)	33g	じゃのめ病	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
				3,000~5,000倍(100~300g)			33~20g	うどんこ病							
	劇	3	トリフミンジェット	収穫前日まで	5回以内	50g/400㎡	—	うどんこ病	○	○	くん煙剤	くん煙	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意	
		7	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300g)	100~67ml	灰色かび病	○	△	顆粒水和剤	散布	ボスカリド		
	7	アフェットフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	うどんこ病、灰色かび病、輪紋病	○	×	フロアブル	散布	ペンチオピラド			
	9、U13	ショウテノスケフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	うどんこ病、灰色かび病	○	×	フロアブル	散布	フルチアニル、メバニピリム			
	M10	モレスタン水和剤	収穫前日まで	2回以内	3,000~4,000倍(100~300g)	33~25g	うどんこ病	○	△	水和剤	散布	キノキサリン系			
	M1	サンヨール	定植前 収穫前日まで	1回 6回以内	農薬総使用回数、 合わせて6回以内	500倍	200ml	うどんこ病	○	×	乳剤	瞬間~5分間苗浸漬	DBEDC		
			500~1,000倍(100~300g)	200~100ml											
			500倍(100~300g)	200ml		灰色かび病、アブラムシ類、ハダニ類									

◆削除農薬(令和4年度中に使用下さい):「セイビアフロアブル20」「ジャストミート顆粒水和剤」「サンリット水和剤」「ペンチオTF顆粒水和剤」「オルフィンフロアブル」「フルピカフロアブル」「フルピカくん煙剤」「コサイド3000」「イデクリーン水和剤」「サルファゾール」「硫黄粒剤」

◆炭疽病は薬剤への耐性につきやすいので、同じ剤を続けて使わず3剤くらいを交替で使用して下さい。(アミスター20フロアブルは他県で炭疽病に抵抗がついてしまっているため、炭疽病防除には使用しない)

いちご育苗期間農薬適用表

登録内容は2021年10月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		M3	ジマンダイセン水和剤	仮植栽培期 但し収穫76日前まで	6回以内	600倍(100~300g)	167g	じゃのめ病、炭疽病	○	×	水和剤	散布	マンゼブ	
		M1	キノンドーフロアブル	育苗期	3回以内	100倍(5ml/株)	—	炭疽病	○	×	フロアブル	クラウン部 散布	有機銅	
				500~800倍(100~300g)		200~125ml	炭疽病	散布						
		M7	ベルコート水和剤	育苗期(定植前)	5回以内	1,000倍(200~300g)	100g	うどんこ病、炭疽病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジナルベシル酸塩	
		21	ランマンフロアブル	育苗期	2回以内	500~1,000倍(50ml/株)	200~100ml	疫病	○	△	フロアブル	株元灌注	シアゾファミド	
	M4	オーソサイド水和剤80	収穫14日前まで	5回以内	800倍(100~300g)	125g	芽枯病、灰色かび病、炭疽病	○	×	水和剤	散布	キャブタン		

◆削除農薬(令和4年度中に使用下さい):「アントラコール顆粒水和剤」「イデクリーン水和剤」「デランフロアブル」「ゲッター水和剤」「サンリット水和剤」「セイビアフロアブル20」

◆上記薬剤は一部を除き育苗期間中しか使えないので注意して下さい。

◆「ベルコート水和剤は本圃でも使用できるが、使用倍率、使用回数、使用時期及び適用病害虫が異なるので間違えないようにして下さい。(別紙適用表参照)

◆炭疽病の発生が懸念される場合(野天での育苗の際の長雨や、頭上灌水で高温期灌水回数が多くなるような時)は5日~1週間ごとに消毒を行って下さい。